



防災×高校生のちから ～その一歩が、誰かを救う～

県教育委員会では、令和6年度から2か年で「高等学校における防災教育推進事業」を実施し、実践校において、地域の防災関連施設等の視察や外部講師を活用した学習、地域と連携した避難所運営訓練などを行い、防災について正しく学び、地域社会の一員として安全な社会づくりに貢献できる「共助・公助」の資質・能力の育成に取り組んでいます。また、実践校での取組や成果を記録集にまとめ、その普及に努めています。

実践校の取組の一例

青森北高等学校

避難所受入想定訓練

学校に地域住民が避難してくることを想定した訓練を行いました。その後、アルファ化米の試食や段ボールベッド製作など地域住民と一緒に体験活動を行いました。



弘前南高等学校

出前講座(中学校)

これまでの防災学習や避難所運営訓練などから得られた知識をもとに出前講座を実施しました。中学生と一緒に段ボールベッドや簡易トイレの作成にも取り組みました。



青森工業高等学校

炊き出し訓練

防衛省自衛隊青森地方協力本部協力のもと、全校生徒・教職員約600人を被災者と想定した炊き出し訓練を行いました。



下北BOUSAIネットワーク(下北管内県立学校5校)

田名部・大湊・大間・むつ工業高等学校 むつ養護学校

岩手県宮古市田老研修

ガイドの方から「万里の長城」と呼ばれていた防潮堤を越えた津波とその被害を聞き、「田老の津波石」や震災遺構「たろう観光ホテル」の見学を通して、田老地区の津波被害について学びました。



名久井農業高等学校

防災研修会

防災士を講師として招き、本校農場にある物品を活用したベッド製作や新聞紙を使ったスリッパ製作、学校にある食材や加工品を活用した炊事訓練を行いました。



あおり高校生防災サミット 実践校の生徒同士が意見交換を行い、防災に関する学びを深めました!

講義「災害・防災とは」

東北大学災害科学国際研究所
准教授 佐藤 翔輔 氏

「災害とは何か?」という問いかけから、地震や降水量などの詳細なデータを明示しながら、「災害」の定義について分かりやすく解説していただきました。



実践発表・避難所体験

実践発表では、各実践校が取り組んできた防災学習について、ポスターやスライドを用いた発表を行いました。

避難所体験では、シェルターテントや段ボールベッド、防災リュックなどの展示や体験を行いました。



防災ワークショップ

生徒がファシリテーターとなり、カードゲームを用いて防災知識や災害発生時の行動などについて楽しく学びました。

また、グループごとに防災に関するピクトグラムづくりにも取り組みました。



演習

「防災に関する学びを深めるために私たちができることは何か?」

他校の生徒同士で演習班をつくり、様々な意見交換を行い、防災に関する学びを深めるとともに、防災学習の新たなアイデアを提案しました。



教職員視察研修

実践校での防災教育を推進する教職員の資質向上を図ることを目的に、宮城県の先進的な防災教育を行っている高等学校や大学のほか、震災により大きな被害を受けた地域や震災遺構の視察研修を行いました。

●多賀城高等学校災害科学科
多賀城津波伝承「まち歩き」



●石巻市震災遺構大川小学校
大川伝承の会語り部ガイド



防災教育推進事業で得られた成果の普及

高等学校

地域の災害リスクに応じた防災教育に取り組むとともに、大規模災害を想定した実践的な避難訓練や地域と連携した避難所運営訓練を実践する際に、令和6年度実践記録集をご活用ください。

小・中学校

令和3～5年度に実施した「命を守る! 防災教育推進事業」防災教育実践事例集をご活用ください。



記録集の内容は
コチラから



事例集の内容は
コチラから

